

都市再生整備計画事業 事後評価シート(完成版)
水と緑のネットワーク地区

平成30年3月

埼玉県松伏町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	松伏町	地区名	水と緑のネットワーク地区			面積	1,055ha
交付期間	平成25年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	307,700千円	国費率	40%		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園事業:かがり火公園、道路事業:町道6号線、地域生活基盤施設事業:江戸川サイクリングロードポケットパーク、大落古利根川遊歩道ポケットパーク、大落古利根川遊歩道サイン、高質空間形成施設事業:大落古利根川遊歩道照明、町道481号線、583号線外							
		提案事業	地域創造支援事業:水路付替事業(町道547号線)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	町道6号線	削除/追加の理由		植樹帯を削減して歩行者と自転車道の分離を計画したが、地元の合意が得られず現状でも歩行者の安全に支障がないため取りやめた。				影響なし
		提案事業	なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	なし							
		提案事業	なし							
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	埼玉県が実施している当地区との関連事業(まつぶし緑の丘公園整備事業と川のまるごと再生プロジェクト事業)が平成27年度に完了することとなり、水と緑のネットワークの形成が進みつつあるなか、当地区の基幹事業を集中して実施することで、水と緑のネットワークの形成が早期に図られ、都市の再生に効果的となるため、期間を1年短縮させた。						
変更	平成25年度～平成28年度									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	イベント等の参加者数	人/年	39,750人	H25	43,725人	H28	40,481人	22,625人	△	あり	水と緑のネットワークの拠点となる公園の整備により新たなイベントが創出され、既存イベント等を含めて参加者数の増加が見込まれたが、メインのイベントである「町民まつり」、「秋の花まつり」が雨天となり目標参加者数を下回る結果となった。	H30年度内
									なし			
指標2	遊歩道の利用者数	人/4時間	354人	H25	425人	H28		670人	○	あり	トイレを備えた公園や休憩できるポケットパーク、健康遊具等を整備し、利便性や快適性を向上させたことで、利用者増につながった。	
									なし			

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4)定性的な効果発現状況

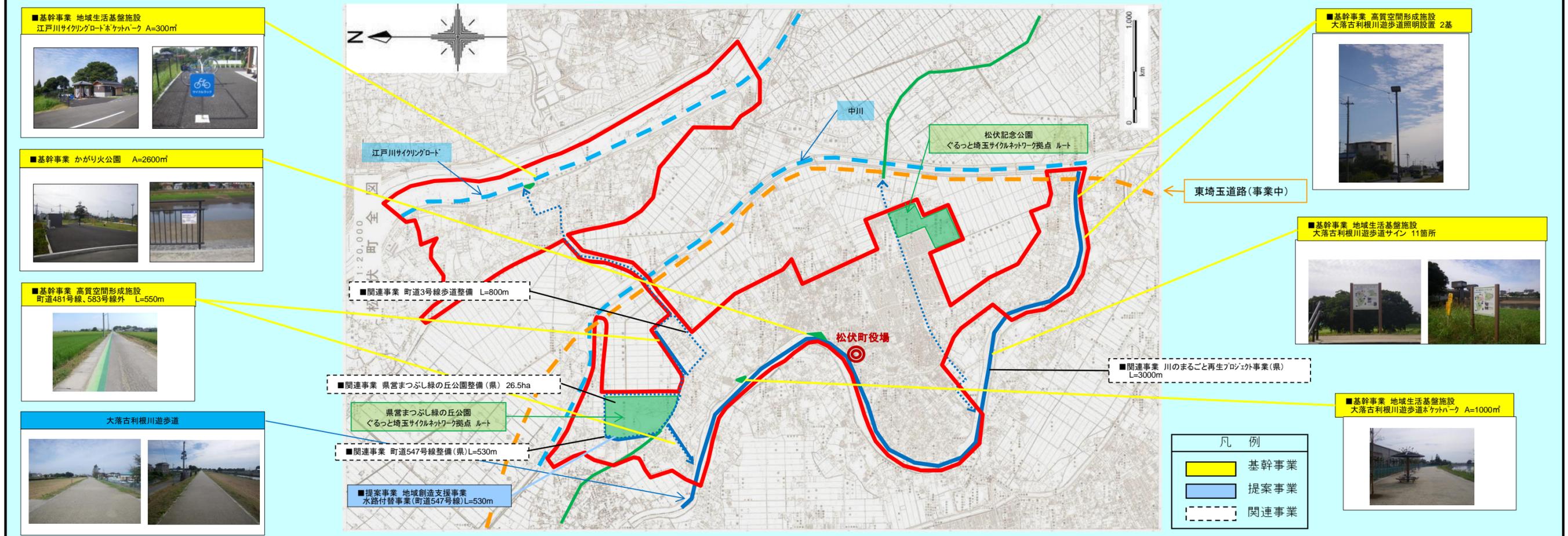
- ・かがり火公園の整備に伴い、地域住民による新たなイベントが創設されるなど地域コミュニティの醸成が図られ、併せて新たなイベント参加者の増加が見込まれるなど期待以上の成果を上げることができた。
- ・大落古利根川遊歩道の管理を目的として、地元住民による遊歩道保存会が組織されるなどコミュニティの醸成が図られるとともに、遊歩道が適正に維持されている。

5)実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		モニタリング	評価値	
モニタリング	イベント等の参加者数のモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	平成28年度に実施されたイベント等の参加者数を集計した結果、事業の効果を確認することができた。モニタリング同様に毎年度のイベント等参加者数を確認する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	
住民参加プロセス		都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	
持続的なまちづくり体制の構築	大落古利根川遊歩道の管理	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	遊歩道等の草刈については地域住民で組織する団体で行い、町は側面から支援する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	

様式2-2 地区の概要

水と緑のネットワーク地区(埼玉県松伏町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:水と緑のネットワークを形成し、潤いと賑わいをもたらす魅力ある美しい都市を創出する 小目標①:水と緑のネットワークの拠点となる公園を整備することにより、地域住民の活力向上の場を提供するとともに、地域活動の活性化を図る。 小目標②:遊歩道やサイクリングロードの利便性を向上させることにより、利用者の快適性の向上を図る。	イベント等の参加者数	単位:人/年	39,750 H 25	43,725 H 28	22,625 H 29
	遊歩道の利用者数	単位:人/日	354 H 25	425 H 28	670 H 29
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県が実施していた当地区との関連した事業である「川のまるごと再生プロジェクト事業」による大落古利根川遊歩道や「県営まつぶし緑の丘公園」が平成27年度に完成し、水と緑のネットワークが形成された。 大落古利根川の遊歩道に、休憩施設や健康遊具が整備されたことで、ウォーキング等の利用者が増加し町民の健康増進が図られた。 新たに休憩設備やトイレを整備した「かがり火公園」が水と緑のネットワークの拠点となるとともに、かがり火公園を活用した新たなイベントが創出されるなど地域の賑わいとコミュニケーションの醸成が図られた。 江戸川サイクリングロードに隣接して、トイレや休憩施設を整備したことにより、江戸川堤防利用者の快適性・利便性の向上が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> イベント内容を充実させるとともに、新たなイベントが創出されるよう、行政は側面から支援を行う。 利用しやすい遊歩道とするため、地域住民で組織する遊歩道保存会で適正に維持管理していただけるよう、行政は側面から支援を行う。 遊歩道等を活用したウォーキングやノルディックウォーキング等の健康教室などを開催し、町民の健康増進、地域の賑わいや活性化、コミュニティの醸成を図る。

都市再生整備計画事業 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② ~~その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- ~~添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況~~
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ ~~数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 ~~今後のまちづくり方策に関するその他の意見~~
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 ~~当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方~~
- 添付様式6-参考記述 ~~今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)~~

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道6号線	54	歩道整備 L=1,400 m	0	L=0	平成27年に計画変更して削除。 地元合意が得られず事業中止。	影響なし		
公園	かがり火公園	198	2,600㎡	198	2,600㎡	なし	—	●	
地域生活基盤 施設	江戸川サイクリングロードポケット パーク	13	300㎡	26	300㎡	施設規模の見直し及び人件費等の 高騰による事業費増	影響なし	●	
地域生活基盤 施設	大落古利根川遊歩道ポケットパーク	6	1,000㎡	8	1,000㎡	人件費等の高騰による事業費増	影響なし	●	
地域生活基盤 施設	大落古利根川遊歩道サイン	3	8箇所	10	11箇所	人件費等の高騰による事業費増 利用者の利便性向上のため大落古 利根川遊歩道サイン3基増設。	影響なし	●	
高質空間形成 施設	町道481号線、583号線外	3	950m	4	950m	人件費等の高騰による事業費増	影響なし	●	
高質空間形成 施設	大落古利根川遊歩道照明設備	1	2基	1	2基	なし	—	●	
高次都市施設									
既存建造物活 用事業									
都市再生交通 拠点整備事業									
土地区画整理 事業(都市再 生)									
住宅市街地 総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	水路付替事業	53	530m	61	530m	人件費等の高騰により事業費増	影響なし	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
まつぶし緑の丘公園整備事業		松伏町大川戸地区	26.5ha	26.5ha	平成10年～平成27年		全面開園済み。 順次、施設整備している。	埼玉県施工
町道547号線整備事業(まつぶし緑の丘公園関連)		松伏町大川戸地区	530m	530m	平成26年～平成27年	平成26年～平成28年	多少遅れているが、公園は全 面開園済みであり、利用に支 障は無い。	埼玉県施工
川のまるごと再生プロジェクト事業		松伏町内	3,000m	3,000m	平成24年～平成27年		完了。	埼玉県施工
町道3号線歩道整備事業		松伏町大川戸地区	800m	800m	平成26年～平成31年		順調に進捗。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
			基準 年度		基準 年度		基準 年度		モニタリング	28年度		モニタリング	△	あり	なし
指標1	イベント等の参加者数	人/年			39,750	H25	43,725	H28	モニタリング		40,481	モニタリング	△	○	
									事後評価	確定見込み ●	22,625	事後評価	△		
指標2	遊歩道の利用者数	人/4h	従前値と比較するため、同時期、同箇所での利用者数を計測。 (平成29年10月26日)		354	H25	425	H28	モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	670	事後評価	○		
指標3									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	ネットワーク内の遊歩道や公園を活用したイベント参加者数は、新たなイベントの創出もあり目標値を達成する見込みであったが、メインのイベントである「町民まつり」や「秋の花まつり」が雨天であったことから参加者数が大きく減少し、目標値を達成できない見込みとなった。平成28年度のイベント等の参加者数を見ると着実に増加しており、1年以内の数値目標の達成の可能性は大きい。	屋外で実施するイベント等の参加者数は、開催日の天候に大きく左右される。
指標2	トイレや健康遊具、休憩施設がある「かがり火公園」を整備するとともに、大落古利根川の遊歩道やポケットパーク、健康遊具等が整備されたことから、ウォーキングやジョギング、自転車の利用者数が目標値を大きく上回ることができた。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度		基準 年度				
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・かがり火公園の整備に伴い、地域住民による新たなイベントが創設されるなど地域コミュニティの醸成が図られ、併せて新たなイベント参加者の増加が見込まれるなど期待以上の成果を上げることができた。
- ・大落古利根川遊歩道の管理を目的として、地元住民による遊歩道保存会が組織されるなどコミュニティの醸成が図られるとともに、遊歩道が適正に維持されている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
イベント参加者数のモニタリング	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>【実施頻度】平成28年度</p> <p>【実施時期】各イベント開催時</p> <p>【実施結果】平成28年度に実施されたイベントの参加者数を主催者発表を基に把握することで参加者の増加傾向が確認できた。</p>	モニタリング同様、毎年度のイベント参加者を確認する。
	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>		
	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
大落古利根川遊歩道の管理	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	大落古利根川遊歩道の管理は町で行うが、遊歩道等の草刈については地域住民で組織する団体で行う。	大落古利根川遊歩道保存会(2団体) 古利根川桜並木保存会	地域住民の主体的な活動に対し、後方から支援する。
	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(事後評価検討会)	関係課主幹級職員 (公園担当、街路担当、道路担当)	平成29年10月27日	新市街地整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1	指標2	指標○	指標○
指標名		イベント等の参加者数	遊歩道の利用者数		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園(かがり火公園)	◎	水と緑のネットワークの拠点となる地域特性を活かした「かがり火公園」を整備したことで、住民の活力向上が図られるとともに、新たなイベントが創出されるなど地域活動の活性化が図られ、既存イベント等も含めてイベント参加者の増加が見込まれる。	◎	遊歩道やサイクリングロード沿道にトイレや休憩施設などを整備するとともに、距離表示や町内の史跡・観光案内を表示し、遊歩道利用者の利便性と快適性の向上を図ったことにより利用者が増加した。また、地域住民による遊歩道保存会が組織され、遊歩道が適正に維持管理されるとともに、地域コミュニティの醸成が図られた。
	地域基盤施設(江戸川サイクリングロードポケットパーク)	-		○	
	地域基盤施設(大落古利根川遊歩道ポケットパーク)	○		◎	
	地域基盤施設(大落古利根川遊歩道サイン)	○		◎	
	高質空間形成施設(町道481、583号線外グリーンベルト)	-		○	
	高質空間形成施設(大落古利根川遊歩道照明設備)	-		○	
提案事業	地域創造支援事業(町道547号線水路付替)	-		-	
関連事業	まつぶし緑の丘公園整備事業	◎		○	
	町道547号線整備事業(まつぶし緑の丘公園関連)	-		-	
	川のまるごと再生プロジェクト事業	○		◎	
	町道3号線歩道整備事業	-		-	

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	イベント主催者と連携して事業の充実を図る。また、整備された施設やネットワークを活用した新たなイベント等を創出し町の活性化を図る。	地域住民で組織する遊歩道保存会等と連携を図り、適正な維持管理に努め利用促進を図る。		
-------	--	---	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(事後評価検討チーム)	関係課主幹級職員 (公園担当、街路担当、道路担当)	平成29年10月27日	新市街地整備課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
住民の活力向上と地域活動の活性化のため、拠点となる公園を整備し、町(地区)内の河川と公園を結ぶネットワークを形成する必要がある	・大落古利根川遊歩道の中心部にトイレや水道施設を備えた地域の憩いの場となる「かがり火公園」を整備したことで、河川と公園を結ぶ水と緑のネットワークが形成されるとともに、新たなイベントが創出されるなど地域活動の活性化が図られた。		
環境や身体にやさしいウォーキングやサイクリングを促進するため、ネットワークの利便性を向上させる必要がある。	・遊歩道に休憩施設や健康遊具を設置したポケットパークを整備するとともに、照明施設、距離表示、史跡や観光の案内版を設置して水と緑のネットワークを構築したことで、町民の健康増進と利便性の向上が図られた。 ・江戸川サイクリングロードに隣接して、トイレや休憩施設を整備したことで利用者の快適性・利便性の向上が図られた。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	公園等でのイベント等の参加者数の維持	・イベント内容を充実させるとともに、新たなイベントが創出されるよう、行政は側面から支援を行う。	・公園や歩道等を活用した新たなイベントの創出
	遊歩道利用者の維持	・利用し易い遊歩道とするため、地域住民で組織する遊歩道保存会で適正に維持管理していただけるよう、行政は側面から支援を行う。	・遊歩道を利用したウォーキング教室等の開催

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策			

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町ホームページに掲載	平成29年11月1日～11月17日	平成29年11月1日～11月17日	担当課への FAX、電子メール	新市街地整備課 (都市再生整備計画事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に担当課窓口及び町ホームページで原案を公表していることを掲載	平成29年11月1日発行 広報11月号	平成29年11月1日～11月17日		
説明会・ワークショップ					
その他	担当課窓口で閲覧	平成29年11月1日～11月17日	平成29年11月1日～11月17日		

住民の意見	意見はなかった。				
-------	----------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	東京大学大学院工学系研究科准教授 知花 武佳 松伏町都市計画審議会会長 鈴木 明 元埼玉県都市整備部副部長 梅山 洋一	平成29年12月22日	新市街地整備課	松伏町都市再生整備計画評価委員会設置条例	独自に設置
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・イベントの参加者について、目標値に達成できなかったが、メインのイベントが雨天であったことによるもので、モニタリングで参加者の増加が確認できたことから△と判断したということで委員の理解を得た。
	実施過程の評価	・目標値としたイベント等参加者数は、モニタリングにより増加傾向が確認された。 ・遊歩道保存会等により、遊歩道が適正に管理されていることが確認された。
	効果発現要因の整理	・水と緑のネットワークの拠点となる「かがり火公園」の整備により、遊歩道利用者が増加するとともに、特色でもある水辺を活用した新たなイベントの創出は、期待以上の効果を発揮したとの意見が出された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、適正に公表されたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・かがり火公園を活用したイベントの充実と合わせ、遊歩道を利用してイベントに参加する人数の増加を期待するとの意見があった。 ・地区の特色である水辺空間を活かし、イベントや教室等も検討してもらいたいとの意見があった。 ・各種団体や関係機関と連携しながら、地域の活性化と潤いを創出して欲しいとの意見があった。
	フォローアップ	特になし
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくりの方策は妥当であると認められた。
その他	特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画(第1回変更)

みず みどり
水と緑のネットワーク地区

さいたま まつがしまち
埼玉県 松伏町

平成27年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(水と緑のネットワークの拠点となる公園を整備することにより、地域住民の活力向上の場の提供と地域活動の活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民のための憩いのオープンスペースとして、また、ふれあいの場として地域特性を活かした公園整備を行う。 ・植樹や植栽活動など、一部の公園整備を地域住民とともに実施するなど、公園に愛着を待たせるような活動を展開する。 	<p>【基幹事業】 公園事業:かがり火公園</p>
<p>整備方針2(遊歩道やサイクリングロードの利便性の向上、利用者の快適性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道沿道に休憩施設や照明施設、また、距離表示や町内の史跡・観光案内を表示し、利用者の利便性、快適性の向上を図る。 ・「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」ルートの拠点間や江戸川サイクリングルートを結ぶ路線の拡幅・歩道改修を行う。 	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設事業:江戸川サイクリングロードポケットパーク 地域生活基盤施設事業:大落古利根川遊歩道ポケットパーク 地域生活基盤施設事業:大落古利根川遊歩道サイン 高質空間形成施設事業:大落古利根川遊歩道照明 高質空間形成施設事業:町道481号線、583号線外 【提案事業】 地域創造支援事業:水路付替事業(町道547号線)</p>
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	307.7	交付限度額	123.0	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	公園	かがり火公園	松伏町	直	2600㎡	25	27	25	27	198.0	198.0	198.0		198.0
古都及び緑地保全事業	河川													
下水道	駐車場有効利用システム													
地域生活基盤施設		江戸川サイクリングロードホケットパーク	松伏町	直	300㎡	27	28	27	28	26.0	26.0	26.0		26.0
地域生活基盤施設		大落古利根川遊歩道ホケットパーク	松伏町	直	1000㎡	28	28	28	28	7.8	7.8	7.8		7.8
地域生活基盤施設		大落古利根川遊歩道サイン	松伏町	直	11箇所	28	28	28	28	9.9	9.9	9.9		9.9
高質空間形成施設		町道481号線、583号線外	松伏町	直	950m	28	28	28	28	3.9	3.9	3.9		3.9
高質空間形成施設		大落古利根川遊歩道照明設備	松伏町	直	2基	28	28	28	28	1.3	1.3	1.3		1.3
高次都市施設	中心拠点誘導施設													
生活拠点誘導施設	既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)													
土地区画整理事業	市街地再開発事業													
住宅街区整備事業	地区再開発事業													
地区再開発事業	バリアフリー環境整備事業													
優良建築物等整備事業	住宅市街地総合整備事業													
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
住宅市街地総合整備事業	沿道等整備型													
住宅市街地総合整備事業	密集住宅市街地整備型													
住宅市街地総合整備事業	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業	住宅地区改良事業等													
住宅地区改良事業等	都心共同住宅供給事業													
都心共同住宅供給事業	公営住宅等整備													
公営住宅等整備	都市再生住宅等整備													
都市再生住宅等整備	防災街区整備事業													
防災街区整備事業	合計									246.9	246.9	246.9	0.0	246.9

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	水路付替事業	町道547号線	松伏町	直	530m	26	28	26	28	60.8	60.8	60.8		60.8
事業活用調査	まちづくり活動推進事業													
まちづくり活動推進事業	合計									60.8	60.8	60.8	0.0	60.8

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
まつぶし緑の丘公園整備事業	松伏町大川戸地区	埼玉県	国土交通省	26.5ha		○			H10	H27	3,600
町道547号線整備事業(まつぶし緑の丘公園関連)	松伏町大川戸地区	埼玉県	国土交通省	530m		○			H26	H28	50
川のまるごと再生プロジェクト事業	松伏町内	埼玉県		3000m	○				H24	H27	300
町道3号線歩道整備事業	松伏町大川戸地区	松伏町	国土交通省	800m		○			H26	H31	445
合計											4,395

合計(A+B) 307.7

都市再生整備計画の区域

水と緑のネットワーク地区(埼玉県松伏町)	面積 1055 ha	区域 大字築比地、大字金杉、大字大川戸、大字松伏、大字上赤岩、大字下赤岩、大字田島、田中1~3丁目、松葉1~2丁目、ゆめみ野1~6丁目、ゆめみ野東1~4丁目
----------------------	---------------	---

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

